

第 1 章

東京 2020 オリンピック聖火リレー編 — 希望の道を、つなごう —

平和と希望のメッセージが込められたオリンピックムーブメントの最も大きなシンボルの一つ、オリンピック聖火。

互いに支え合い、認め合い、励まし合う『Hope Lights Our Way』の想いを胸に、日本国民に希望の道を示しつないだ軌跡。

いろんな葛藤の中で、共に頑張ろうとエールを送った聖火ランナーたち。

自分たちのまちでつなぐ聖火リレーを心待ちにし、支えたボランティアやスタッフ。

オリンピックに夢と希望を膨らまし、聖火の輝きを心に刻んだ子どもたち。

日本全国、様々な想いでつながれたオリンピックシンボルは、東京 2020 大会の、そして日本の、希望の道となった。

オリンピック聖火リレーとは

異例の1年延期を乗り越えつながれた、 平和と希望のメッセージを伝えるオリンピックのシンボル

2020年3月12日(木)、古代オリンピック発祥の地・ギリシャ・オリンピア市にあるヘラ神殿跡にて聖火採火式が行われた。オリンピック聖火リレーは、採火された炎をギリシャ国内と開催国内をリレーによってつなぎ、オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、来るオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を持つもの。当初は予定通りスタートを切った聖火リレーだったが、採火式の翌日、ギリシャ国内での聖火リレーは一転、新型コロナ感染拡大の影響により中止となった。

それでも、3月20日(金)、ギリシャ・アテネからオリンピック聖火が日本の航空自衛隊松島基地(宮城県)に到着。聖火到着式では、予定された子どもたちの参加は見送られ、関係者のみに縮小しての実施となった。3月26日(木)からの国内オリンピック聖火リレーがスタートに向けて期待が高まる中であったが、3月24日(火)、東京2020大会の延期が決定すると、聖火リレーも中止(延期)が発表された。

異例の延期から1年、いまだ新型コロナウイルス感染症拡大の脅威が残る中、開催が危ぶまれた東京2020大会の希望の光となったのは、オリンピック聖火リレーだった。

2021年3月25日、福島県のJヴィレッジをスタートした聖火は、感染対策を徹底した運営と、たくさんの人間の熱意・協力により、121日間をかけて、47都道府県をめぐり、「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」のコンセプトのとおり、日本全国みんなの想いをのせて国立競技場へと向かった。

国内の世界遺産、名所、旧跡、地域の人に愛されている場所など、各地域の魅力あふれる場所で聖火リレーが行われた。コロナ禍の中、声援ではなく拍手で、そしてテレビの前で、多くの人が聖火リレーを応援。新しい時代の日の出を象徴し、私たちの道を照らす希望を与えるだけでなく、オリンピックムーブメントの最も大きなシンボルの一つとして、日本中に喜びと情熱を広めた聖火リレーは、7月23日(金)の開会式までつなぐれ、日本国民の大会への期待を掻き立てた。

■聖火採火式



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020

■聖火到着式



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020

■聖火リレースタート(福島県)



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020

東京 2020 オリンピック聖火リレーコンセプト

支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出す。

被災から立ち上がる「復興・不屈の精神」、様々な「違いを認め合う包容力」、地域の「祝祭による一体感」が人々にポジティブな改革をもたらす可能性を、全国民で示そう、そして東京 2020 オリンピックへの期待感を最大化させよう、という想いからこのコンセプトが作られた。

Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。

東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレム

大会エンブレムを構成する3つの四角形を聖火の炎と見立て、炎のダイナミックな動きを表現。また日本らしさを表現するデザインモチーフとして、「拭きぼかし」という浮世絵の技法も用いている。

色彩は、エネルギッシュ、情熱的、愛情深い、行動力といったイメージのある「朱(しゅ)」に大地を連想させる「黄土(おうど)」を組み合わせ、日本らしい祝祭感を醸し出した。



静岡県のオリンピック聖火リレー

■日程：6月23日(水)～25日(金)

47都道府県中41番目に聖火をつないだ静岡県。3日間で274人の聖火ランナーが22市町26区間を走行した。

県内の感染状況から浜松市以外での「公道での実施」が決定。安全・安心な聖火リレーのため、沿道観覧には基本的な感染対

策の徹底や、居住地に近い場所での観覧が呼び掛けられたほか、聖火リレーの様子を伝えるインターネットライブ配信などの活用も周知され、県民が地元でつながれたオリンピック聖火リレーを応援した。



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020



画像提供：Tokyo 2020

御殿場市のオリンピック聖火リレー

御殿場でつながれた希望の道 ～ Hope Lights Our Way ～

2021年6月25日(金)、「東京2020オリンピック聖火リレー」が御殿場市で実施された。秩父宮記念公園から二の岡公民館南側交差点までの約2kmのコースを、11人の聖火ランナーが走り抜けた。

当日、午前中は晴れ間も見えたが、だんだんと雨が降りだす生憎の天気。スタート会場となった秩父宮記念公園の駐車場の特設会場内には、市内福祉施設で植えられたメランポジウムの花のプランターで彩られ、準備も万端。雨が上がることを願って希望の火の到着を待った。

新型コロナウイルス感染症対策として、スタート会場は人数制限が行われた。市内16校の小中学校や県立御殿場特別支

援学校の児童生徒と関係者、約280人がセレモニーに参加。子どもたちは接触を最小限にするため、各学校からタクシーで会場へ集まった。会場に到着した子どもたちは期待と興奮の笑顔。スタートまでの間、聖火リレーのデザインで装飾された、いつもと違う特別な会場の雰囲気を楽しんだ。

子どもたちの願いが通じ、スタート予定時刻前には雨も上がり、いよいよ聖火リレーが始まった。オリンピック聖火が第1走者を務める田代なのはさんの持つトーチに点火され、華々しく御殿場のオリンピック聖火リレーがスタートした。



子どもたちとともに聖火リレーがスタート

スタート会場の秩父宮記念公園駐車場では、御殿場市での聖火リレーのスタートを盛り上げるセレモニー「ミニセレブレーション」を実施。

聖火リレーのスタート前には、地元の南中学校太鼓クラブと県立御殿場南高等学校吹奏楽部による演奏で会場を盛り上げた。会場には市内小中学校から応援サポーターの子どもたち約160人が集まり、各学校ごとセレモニーも見学し、聖火ランナーを応援。母校の先輩である第1走者・田代なのはさんの

幕を持って応援する高根小中学校の子どもたちも。

子どもたちの拍手のなか、田代さんがステージに登壇。彼女の持つ聖火トーチにオリンピック聖火が点火されると、会場内には大きな拍手が沸き起こった。聖火ランナーと一緒に走るのは各学校代表のサポートランナー17名。聖火リレーがスタートすると、田代さんとサポートランナーの子どもたちは手を振りながら、笑顔溢れる聖火リレーを見せてくれた。

ミニセレブレーション



御殿場市で聖火をつないだ11人の聖火ランナー

御殿場でそれぞれの思いを胸に希望の火をつないだ聖火ランナーたち。当日の集合・公式取材場所（コレクションポイント）となった御殿場市役所から聖火ランナー専用のバスで、自身が走行する聖火リレールート各スロットへ。次の聖火ランナーのトーチに聖火を灯す場所「トーチキス」ポイントでは、お

互いに決めたトーチキスポーズを披露。

本市の最終ランナーとなった芹澤直己さんは一生に一度の晴れ舞台で沿道に駆け付けた方々の応援に笑顔で応えながら、希望の火をつないだ。



聖火ランナー勢ぞろい

静岡県Day3 御殿場市聖火ランナー

走者	スロット名	氏名
第1走者	秩父宮記念公園	田代 ののはさん
第2走者	秩父宮記念公園北門付近	河村 和能さん
第3走者	秩父宮記念公園東門前	足川 西代さん
第4走者	国道138号線東山西側	栗本 めぐみさん
第5走者	湖水前交差点	梅宮 勇人さん
第6走者	湖水前バス停前	森 直美さん
第7走者	御東原循環線東山西側	小山 壮さん
第8走者	東山荘バス停付近	岡村 昌樹さん
第9走者	秩父宮記念公園正門前	Ballinger Shaunさん
第10走者	東田中交番西	河口 淳さん
第11走者	地藏堂バス停前	芹澤 直己さん

トーチキスポイント



聖火ランナーコメント



第1走者
田代 ののはさん
(高根地区出身/静岡県市町対抗伝3回出場(2018・2019 優勝))
聖火リレーで走ることが出来て楽しかったです。いつも応援してくれている方々への感謝を込めて走りました。現在、大学で静岡を離れていますが、地域の人、これまで関わってきた人に「いつも応援してくれてありがとう」という気持ちです。沿道の皆さんの楽しそうな姿を観ることが出来て、オリンピックのパワーを感じました。



最終走者
芹澤 直己さん
(玉徳地区在住/農業経営者/自然環境保全に尽力)
スタートが近づくにつれて、段々と気持ちが高揚しました。走り終わって、今はほっとしています。農協青年部、商工会青年部の仲間に感謝しています。沿道の人々の多さには驚きました。聖火リレーの熱気・活気を感じて、この街はまだまだ発展すると思いました。農工商、皆で協力してこの街を活気づけたいです。

御殿場市の聖火リレールート

3日間にわたって実施された静岡県のオリンピック聖火リレー。御殿場市は3日目の6月25日(金)、16:22スタートが予定された。

聖火リレールートは、秩父宮記念公園をスタートし、富士山を望みながら東山湖の沿道走り、街路樹が美しく緑豊かな富士の麓の高原のまち御殿場らしいルートが選ばれた。

聖火リレールートの走行距離は約2km。「スロット」と呼ばれる聖火ランナーの走行区間は11スロットと決まった。

聖火リレールートの区間詳細を掲載した Day book



聖火ルート



御東原循環線及び東山・二の岡エリア

東山・二の岡地区は富士山の良好な眺望景観を有し、秩父宮記念公園や近代史に登場する著名人達の別荘地もあり、市が誇る別荘文化を体感できる歴史的探訪エリア。「日本の歴史公園100選」「日本の歩きたくなる道500選」にも認定されている。

秩父宮記念公園

「スポーツの宮様」として国民そして市民に敬愛された秩父宮殿下が実際に住まわれていた別邸を市に御遺贈いただき、公園として整備。四季折々の豊かな花々が彩り、広く市民や来訪者に親しまれる場所。

交通規制

聖火リレー実施に際しては、国道138号や御殿場インターチェンジ出口を含む周辺道路の交通規制が行われた。市内では経験のない大規模な交通規制であったが、周辺住民をはじめとする市民の理解と、警察や誘導員のほか、多くのボランティアの協力により、大きな渋滞やトラブルが発生することなく無事聖火リレーを実施できた。



各戸配布チラシで規制を周知

東京2020オリンピック聖火リレー実施に伴う
交通規制・迂回ルートのお知らせ 御殿場市

聖火リレーコースは、国道138号を起点とし、東山湖沿道、街路樹が美しく緑豊かな富士の麓の高原のまち御殿場、ゴールの順に進みます。この区間は、16:22スタート、16:58ゴールと決まっています。この区間は、16:22スタート、16:58ゴールと決まっています。この区間は、16:22スタート、16:58ゴールと決まっています。

6月25日(金)
交通規制実施時間: 14:20~17:30
聖火リレー実施時間: 16:22~16:58

聖火リレー実施に伴い、一部道路(赤線部分)が通行止めになります。また、周辺道路の渋滞が予想されます。

交通規制のご案内
https://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-320/olympic/toky2020torchrelay.html
静岡県 オリンピック・パラリンピック推進課 TEL. 054-221-3219
月～金(祝日を除く) 9:00~17:00

ボランティア



聖火リレー運営を支えた地元高校生

聖火リレーの運営ボランティアには、地元の県立御殿場南高等学校の生徒約120名が参加。

事前に学校でのWEB研修を行い、当日は聖火リレーの円滑

な運営のためにルート各所で観覧者誘導や交通規制準備・撤収作業などで活躍した。また、吹奏楽部がミニセレブレーション会場で演奏し、聖火リレーのスタートに華を添えた。

御殿場南高等学校ボランティア



安心・安全な聖火リレーのために

コロナ禍で行われた聖火リレーのため、徹底した感染症対策が行われた。

ミニセレブレーション会場は人数を制限し、大声を出さない応援を徹底するように応援用のうちわを配布。また、会場入り

口で検温や手指消毒などを徹底した。

聖火リレールート沿道には、市職員がマスク着用やソーシャルディスタンスの確保、拍手での応援を促すサインを掲出し注意喚起を行った。

■学校受付



■声を出さない応援の徹底(うちわの配布)



■関係者受付



■感染症対策スタッフ



■沿道注意喚起(拍手応援の推奨)



聖火リレーに向けた取り組み

御殿場に聖火を迎えるために

2018年8月に市が東京2020オリンピック開催会場に決定してから、「聖火リレーも御殿場へ」という地元の想いは大きかった。2019年6月には聖火リレールートに決定。開催会場

で行われるオリンピック聖火リレーに向け、市民の期待は一層高まった。市民みんなで迎える市での聖火リレーに向けて取り組みが進んだ。

1964年の聖火リレーの経験を子どもたちにも

2019年2月13日(水)、東京2020オリンピックに向けて、1964年の東京オリンピックの経験を子どもたちに伝えようと、市立西中学校では1964年東京オリンピックで聖火ランナーの伴走者を務めた土屋弘さん(西中学校出身)と梶照美さん(富士岡中学校出身)による講演会が行われた。

1964年のオリンピック聖火リレーでは、市内で13人が御殿場リレー隊に選ばれ、箱根の国道1号を走ったことや、毎週土曜日午後に市役所に集合して必死に練習し、本番では聖火の煙に耐えながら無我夢中で走ったことなど、当時の体験を子どもたちに伝えた。聖火リレー隊に選ばれ、オリンピックに携

わったという感慨深さやいろいろな人と人の縁に恵まれたことから、縁を大事にしてほしいと中学生にエールを送った。



御殿場市がオリンピック聖火リレーのルートに決定!

2019年6月1日(土)、御殿場市が東京2020オリンピック聖火リレーのルートに決定。市役所玄関モニュメントにも決定を伝えるポスターを掲出した。



聖火リレーラッピングの自動販売機が市内に設置

オリンピック聖火リレースポンサーのコカ・コーラの取り組みで、市民の聖火リレーへの期待を高めるために聖火リレーオリジナルのラッピング自動販売機が、市役所や市体育館、各地区広場など市内各所に設置された。



オリンピックに参加しよう! 1964年の聖火ランナーからのメッセージ

2019年7月1日(月)からは、聖火ランナーの一般公募も開始。市HPやFacebookにはランナー公募告知を掲載した。

7月5日号の広報ごてんばでは、聖火ランナー公募の情報と

合わせ、1964年東京オリンピック聖火ランナーを務めた芹澤頼之さんから子どもたちへ、当時の体験や2回目となる東京オリンピックに向けたメッセージが語られた。



1964年当時の様子



芹澤頼之さん

19歳の時に聖火ランナーに決まり父親も非常に喜んでくれました。トーチは熱くて重くて汗ですべり、握り直しながら1,500mを走り、とても緊張しましたが、人生で最大の良い思い出です。まさか2回目の東京オリンピックが開催されるとは思いもしませんでした。決定したときは嬉しかった。スポーツには人を感動させる力があります。ぜひ子どもたちにオリンピックを観戦してほしい。そして聖火リレーランナーに勇気をもって応募してもらいたいですね。

聖火リレー本番に向けた清掃活動

2021年6月21日(月)、東京2020オリンピック聖火リレーの直前には、聖火を迎え入れる環境をきれいにし、聖火リレーを通じた東京2020大会開催に向けた機運を高めるため、市役所職員や聖火リレーコース隣接区の東山区・二の岡区の方々による清掃活動を実施し、53人が参加。聖火の到着を楽しみに活動に参加した。



聖火リレートーチ巡回展示

本物の東京 2020 大会聖火リレートーチが間近に！

2021年2月26日(金)、秩父宮記念公園を無料開放して東京2020オリンピック・パラリンピックそれぞれの聖火リレートーチを展示。大会を楽しみにする市民約800人が会場を訪れた。

東京2020オリンピック聖火リレーが2021年3月25日(木)に福島県からスタートすることに合わせ、2月1日(月)～3月24日(水)の期間に、静岡県内で巡回展示されたもので、本物の聖火リレートーチが間近で見れる貴重な機会とあって、大会の開催を待ち望む多くの市民が展示開始の9時前から列をつくり、終了予定時刻の15時を過ぎても列が途絶えないほ

ど注目の高いものとなった。展示会場には、聖火リレートーチと合わせ、1964年東京オリンピックの聖火台レプリカや、当時の様子を紹介するパネル展示、東京2020大会トーチ製作の様子を紹介する映像なども上映。展示に先立って行われたセレモニーでは、県立御殿場特別支援学校の代表として参加した鈴木優生香さんが挨拶し、「トーチを見て東京オリンピックがとても楽しみになった」と話された。東京2020大会の開催を信じ、開催地の御殿場で行われるオリンピック聖火リレーに期待を膨らます機会となった。



東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ

全長71センチ、重さ1.2キログラムのトーチは、長きにわたり日本人に愛されてきた花である桜をモチーフにし、真上から見ると、桜の花びらが5枚、開いているようにデザインされている。オリンピック用のトーチは「桜ゴールド」、パラリンピック用のものは「桜ピンク」にカラーリングされ、5つの炎が花びらから生み出され、より大きな輝きとなり燃え上がる。

トーチは丈夫で軽いアルミニウムから作られ、東日本大震災の復興仮設住宅から再利用されたアルミニウムが約30%含まれている。新幹線などの製造に使われている方法を用いているため、継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチとなっている。

燃料はCO₂を排出しない次世代エネルギーとして注目される水素が初採用された。



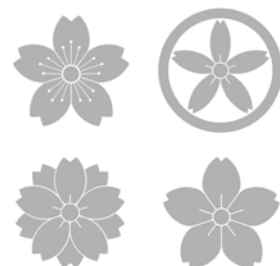
オリンピック
聖火リレートーチ



パラリンピック
聖火リレートーチ



上から見た様子



桜のイメージ